

講座のお誘い

第一〇期『先生のための学校』 オール久保講座をぜひ！

「先生のための学校」運営委員会事務局 山田 周司

今年度の第一〇期『先生のための学校』は、今年十二月の講座で残り三回となりました。受講生のみなさんの、「実践を学び、深めたい。」という熱い意欲を、今期も感じながら前半を終えました。

第一〇期は、オール久保講座

何と言っても今期は、久保齋校長が全講座を担当するという記念の年です。『先生のための学校』はこれまで、久保齋校長の九〇分「国語連続講座」と、学力研の国語以外の様々な実践の提案六〇分で構成されてきました。いろいろな講師が登場することによって、学力実践の全貌を、様々な角度から提案してきました。

しかし今期は、算数も理科も社会も体育も全体として、久保校長から提案してもらおうということになり、企画が進みました。その計画も、半分を過ぎ、久保齋先生からの総体としての学力実践が明らかになってきました。実は、この様に連続的、網羅

的に久保先生の実践が講座で語られるのは珍しいことです。そのことを今期は、実感しながら講座を受けてもらっています。

実は先月の算数の実践、久保先生は以前から提案したいという思いを秘めておられました。「できる」という実感を、子ども達

に持たせるための手立てや過程の実践を九〇分間しっかりと提案してもらいました。直観の全体把握の力でできるようになった子ども達を、文章題などで理論的分析能力の向上へ導く、そんな算数授業の捉え方を聞くことのできる貴重な時間になりました。

後半の魅力は…

もちろん、全講座の提案を、久保実践として聞くことができることは、そんなに機会がある訳ではありません。引き続き、後半も「討論のある授業」や「ノート指導」、「図工の実践」、「指導案の書き方」など、久保校長自ら実践の提案があります。ぜひ皆さんも、総体としての提案をお聞きください。

そのために、どの回も少ない枠ですが、単発の参加を募集することになりました。

オープン枠にぜひ！

今期の残り三回に、新たにオープン枠(十名分程度)を設けます。この機会に、皆さんの参加を呼びかけます。もちろん、関心を持たれた回のみ参加もできます。既に受講されている方と一緒に参加してもらってもかまいません。今後発売される予定の新刊の中身も垣間見ることが出来ます。

特に、今年(十二月)は、国語の授業でアクティブに思考するための様々な実践を、教科書教材を使って学びます。十一月には、『大造じいさんとガン』の板書計画が配られました。子ども達が自分たちの頭を使って学び合う生き生きとした授業を、つくり出すためのヒントをたくさん見つけてもらえるはず。今から楽しみの講座です。参加希望の方は、以下のアドレスに連絡してください。少ない枠ですので、先着順とさせていただきます。

事務局 yamada-shu@tc4-so-net.ne.jp

yamada-shu@docomo.ne.jp

FAX 0774-66-3445